

参 考 4－2

国立大学教育研究評価委員会（第34回）

平成 25 年 6 月 20 日

第 1 期中期目標期間評価における評価報告書様式

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

- | | | |
|----|-------|--------|
| 1. | 〇〇学部 | 教育 1-1 |
| 2. | 〇〇研究科 | 教育 2-1 |
| 3. | △△学部 | 教育 3-1 |
| 5. | □□学部 | 教育 5-1 |
| 6. | □□研究科 | 教育 6-1 |
| 7. | ◎◎学部 | 教育 7-1 |
| 8. | ◎◎研究科 | 教育 8-1 |

〇〇学部

- I 教育水準 教育 1-2
- II 質の向上度 教育 1-〇

I 教育水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

1. 教育の実施体制

平成 16～19 年度に係る現況分析結果は、以下のとおりであった。

〔判定〕

期待される水準○○○○

〔判断理由〕

「基本的組織の編成」については、~~~~~
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~ことから、期待される水準○○○○と判断される。

「教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制」については、~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~ことから、期待される水準○○○○と判断される。

以上の点について、文学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育の実施体制は、〇〇学部が想定している関係者の「期待される水準〇〇〇〇」と判断される。

上記について、平成 20 年度及び平成 21 年度に係る現況を分析した結果、平成 16～19 年度の評価結果（判定）を変えうるような顕著な変化が認められないことから、判定を第 1 期中期目標期間における判定として確定する。

2. 教育内容

平成 16～19 年度に係る現況分析結果は、以下のとおりであった。

「判定」

期待される水準○○○○

〔判断理由〕

「教育課程の編成」については、~~~~~
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~ことから、期待される水準○○○○と判断される。

「学生や社会からの要請への対応」については、~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~ことから、期待される水準〇〇〇〇と判断される。

以上の点について、〇〇学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育内容は、文学部が想定している関係者の「期待される〇〇〇〇」と判断される。

上記について、平成 20 年度及び平成 21 年度に係る現況を分析した結果、平成 16～19 年度の評価結果（判定）を変えうような顕著な変化が認められないことから、判定を第 1 期中期目標期間における判定として確定する。

3. 教育方法

平成 16～19 年度に係る現況分析結果は、以下のとおりであった。

[判定]

期待される水準〇〇〇〇

[判断理由]

「授業形態の組合せと学習指導法の工夫」については、~~~~~
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~ことから、期待される水準〇〇〇〇と判断される。

「主体的な学習を促す取組」については、~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~ことから、期待される水準〇〇〇〇と判断される。

以上の点について、〇〇学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育方法は、文学部が想定している関係者の「期待される水準〇〇〇〇」と判断される。

上記について、平成 20 年度及び平成 21 年度に係る現況を分析した結果、平成 16～19 年度の評価結果（判定）を変えうような顕著な変化が認められないことから、判定を第 1 期中期目標期間における判定として確定する。

4. 学業の成果

平成 16～19 年度に係る現況分析結果は、以下のとおりであった。

〔判定〕

期待される水準○○○○

「判断理由」

「学生が身に付けた学力や資質・能力」については、~~~~~
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~ことから、期待される水準○○○○と判断される。

「学業の成果に関する学生の評価」については、~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~ことから、期待される水準○○○○と判断される。

以上の点について、文学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、学業の成果は、〇〇学部が想定している関係者の「期待される水準〇〇〇〇」と判断される。

上記について、平成 20 年度及び平成 21 年度に係る現況を分析した結果、平成 16～19 年度の評価結果（判定）を変えうるような顕著な変化が認められないことから、判定を第 1 期中期目標期間における判定として確定する。

5. 進路・就職の状況

平成 16～19 年度に係る現況分析結果は、以下のとおりであった。

[判定]

期待される水準○○○○

〔判断理由〕

「卒業（修了）後の進路の状況」については、~~~~~
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~ことから、期待される水準○○○○と判断される。

「関係者からの評価」については、~~~~~

～～ことから、期待される水準〇〇〇〇と判断される。

上記について、平成 20 年度及び平成 21 年度に係る現況を分析した結果、平成 16～19 年度の評価結果（判定）を変えうるような顕著な変化が認められないことから、判定を第 1 期中期目標期間における判定として確定する。

## 1. 質の向上度

[判定]

〔判断理由〕

上記について、平成 20 年度及び平成 21 年度に係る現況を分析した結果、平成 16～19 年度の評価結果（判定）を変えうるような顕著な変化が認められないことから、判定を第 1 期中期目標期間終了時における判定として確定する。